

# アジア・マンスリー

## (ASIA MONTHLY)

### トピックス

1. 新しい工程間分業としてのタイプラスワン（大泉 啓一郎）・・・1
2. 拡大する中国の消費市場（関 辰一）・・・3

### 各国・地域の経済動向

1. 韓 国 厳しい経済環境が続くなかで後退する公約・・・5
2. 香 港 景気は回復基調ながら、先行き懸念も増大・・・6
3. マレーシア 経済政策で保護主義的な動き・・・7
4. フィリピン 期待される高成長の持続・・・8
5. ベトナム 不良債権が銀行融資の足かせに・・・9
6. 中 国 景気が持ち直し、改革推進には有利な状況・・・10

アジア諸国の主要経済指標・・・11

## 新しい工程間分業としてのタイプラスワン

タイの生産拠点から労働集約的工程を周辺国に移転するビジネスモデルは、東南アジアにおける新しい工程間分業といえる。その特徴と課題を考察する。

### ■国内外で進むフラグメンテーション

2000年以降、東アジアにおけるわが国製造業の直接投資では、工程間分業を目的とした投資が増えている。

工程間分業は、生産工程を国際間に配置するもので、フラグメンテーションと呼ばれる(右上図)。

たとえば、ある製品が、原材料調達から最終製品まで国内にある一つの自社工場で生産されていたとしよう(上部分)。この生産工程は、実際には、いくつかの生産ブロックに区分できる(下部分)。

これら複数の生産ブロックは、近年の経済のグローバル化の進展、輸送コストの低下、IT技術の進化などにより、一つの工場に配置する必要がなくなり、それぞれを国内外の最適な条件を有する場所に配置することが求められるようになった。

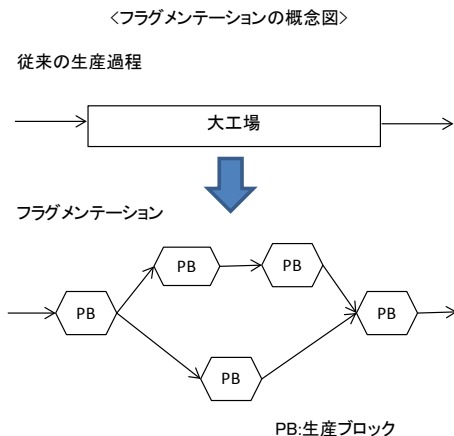
このフラグメンテーションは、企業内から企業間へ移転されるもの(アウトソーシング)、国内から国外へ移転されるもの(国際分業)という2つの方向性を持って進んでいる(右下図)。そして最終的には、企業間の工程分業も国境を越えて展開される。グローバルサプライチェーンは、フラグメンテーションにより国際間に広がった工程間分業のことである。

この国際間の企業間分業は、外国企業が担い手となる場合もあれば、日本企業が進出して担い手になる場合もある。複数の外国企業のブランド製品の生産の一部を請け負うOEM(original equipment manufacturer)による台湾企業は前者の代表例であり、タイに進出した日本企業が後者に該当する。

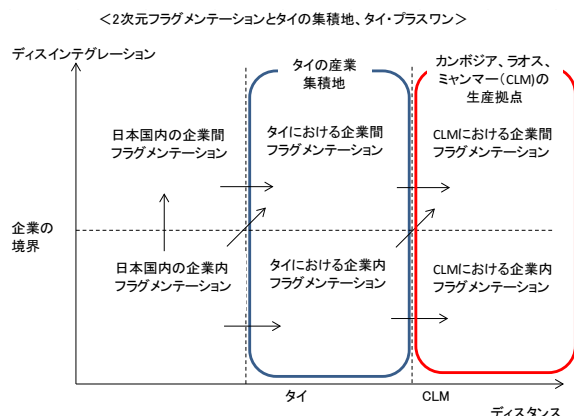
### ■タイの生産拠点の集積地化とタイプラスワン

わが国のタイへの投資も工程間分業の形態が増えている。当初は企業内の生産ブロックをタイに移転する投資が多かったが、やがて国内の企業間分業の担い手もタイへ進出するようになった。

たとえば、自動車産業では、機械部品や内外装のメーカーなどの第1次サプライヤーだけでなく、プレス、金型に関連するメーカーなどの第2次サプライヤー、そして現在、製造機械のメーカーやそのメンテ



(資料)木村福成[2003]「国際貿易理論の新たな潮流と東アジア」国際協力銀行(JBIC)『開発金融研究所報』2003年1月号第14号

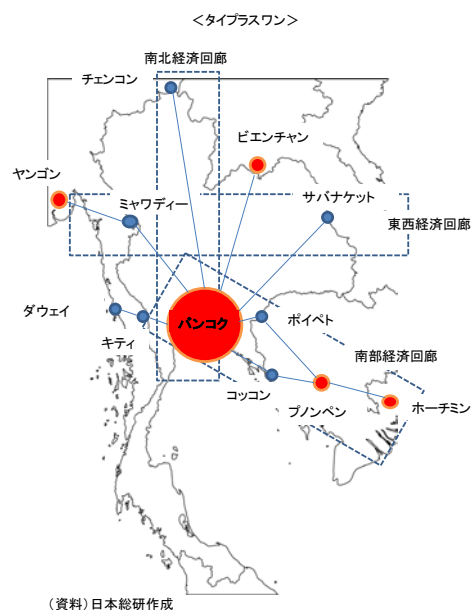


(資料)木村・安藤[2006]「国際的生産・流通ネットワークと新国際通商戦略」財務省財務総合研究所『フィナンシャル・レビュー』April-2006を参考に日本総研作成

ナンスサービス、流通・倉庫関連企業などの第3次サプライヤーの進出が増えている。かつて日本国内で行われていた工程間分業が、タイに集結し、それが同国の産業集積化を促した。

そして、最近、これらタイの集積地から周辺国（ラオス、カンボジア、ミャンマー）へ工程間分業が拡大する動きが出始めている。これがタイプラスワンと呼ばれる新しい工程間分業である。

タイプラスワンの特徴は、カンボジアのプノンペンやラオスのビエンチャンなど、大都市だけでなく、国境に位置する中小都市も移転先の対象としていることである。その例として、プノンペンのコッコンやポイペト、ラオスのサバナケット、ミャンマーのミャワディーなどがあげられる（右図）



これには、①国境までのタイ国内の道路が整備されていること、②国境を越えることで賃金格差のメリットが得られること、③周辺国政府が、国境地域を外国進出企業の誘致場所として捉えるようになったこと、④2015年にこれらの国とタイの間で関税が撤廃されること、などの環境変化が作用している。

### ■タイの拠点に求められる生産性向上策

東アジアにおいて工程間分業が広がるなかで、日本に残る生産拠点は研究開発、設計、試作品の製作などを担ってきた。これを考えると、タイプラスワンをより強力なビジネスモデルにするためには、タイに残された生産拠点の役割の見直しが重要である。

タイの生産拠点の競争力強化は、同国政府でも重要な国家戦略として認識されている。インラック政権は、研究開発（R&D）支出の促進、高等教育の充実などに注力している。日本政府も、泰日経済技術振興協会を通じて、タイへの最新技術と知識の移転・普及、人材育成を行ってきた。また、日本のものづくりに直結し、実務的かつ実践的な技術と知識を兼ね備えた学生を育成するため、2007年6月には泰日工業大学が設立された。さらに、近年、国際協力機構（JICA）は東南アジアの工学系大学とネットワークを形成し、民間企業との共同研究を促進するプロジェクトをスタートさせている。

企業レベルでは、①企業間、②企業内の両面での生産性向上策が求められる。

企業間では、多数の日本企業がタイの集積地に密集しているため、同地の日本企業間での意思疎通の促進を通じた協力体制の構築が可能である。タイは、日本人による日本語でのシナジー効果が最も期待できる国である。この点で、バンコク日本人商工会議所などが中心になって経営や技術関連の経験やノウハウを交流する場を設けることが有用となろう。また、日系企業に勤めるタイ人同士の交流の場の設定も、新しい経営・技術革新を生み出す契機になるかもしれない。

そして企業内では、R&Dと現場を結び付ける生産フロントを磨く必要がある。そのためには、魅力的な研修制度や昇給・昇進制度の導入などが求められる。1,000人を超える従業員を有する生産拠点も少なくなく、タイ独自の人材育成が重要になる。

研究員 関 辰一

## 拡大する中国の消費市場

2012年の中国の家計消費支出は2.5兆ドルと日本の1.3倍に拡大した。2015年の支出規模は8兆ドルに達する可能性もある。消費構造の変化も見込まれるなか、サービス消費が特に拡大する見通しである。

### ■拡大する消費市場

近年、中国では人件費が急ピッチで上昇している。これにより、中国の生産拠点としての魅力は低下しつつある（詳しくは、アジア・マンスリー2012年3月号「厳しさを増す中国の加工貿易」を参照）。

もっとも、視点を変えてみると、所得水準の上昇により、消費者の購買力が向上し、消費市場としての魅力が高まる結果ともなっている。まず、現在の市場の大きさに注目したい。中国国家統計局によると、2012年の1人あたり消費支出は都市部では1万6,674元、農村部では5,908元であった。同年の都市部人口は7.1億人、農村部は6.4億人であった点を踏まえると、全国の家計消費支出は15.7兆元(2.5兆ドル)にのぼる。

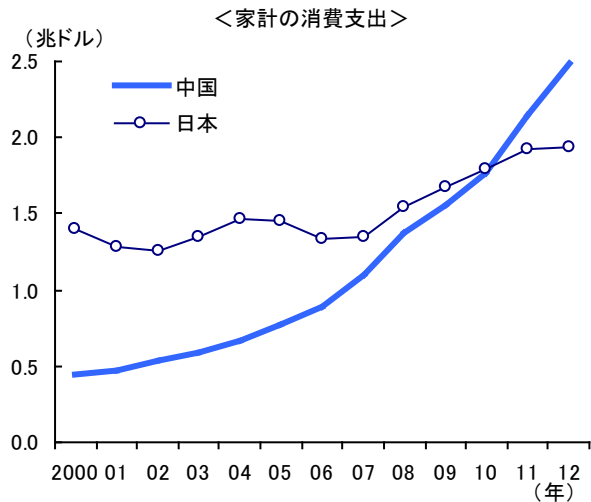
次に、2000年から2012年までの市場の変化をみると、家計調査ベースのわが国の消費支出総額は160兆円(1.9兆ドル)程度で伸び悩むなか、中国の消費支出は年平均15.5%のペースで拡大した(右上図)。

とりわけ、都市部における自動車関連支出の拡大が顕著である。国家統計局によると、都市部1人あたりの消費支出総額に占める交通支出の割合は2000年の3.2%から2012年に9.8%へ上昇した。具体的には、自動車の購入や維持に対する支出が大きく増加した。他方、食料支出の家計消費支出に占める割合は2000年の39.4%から2012年に36.2%へ低下した。このように、エンゲルの法則が中国においても観察される。

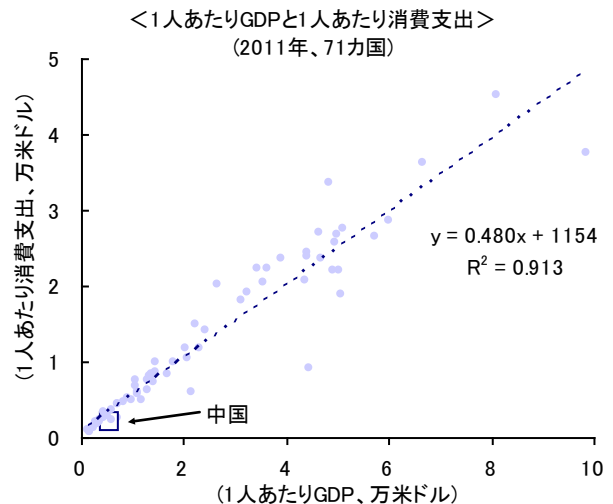
### ■一段と拡大する見込み

今後を展望すると、中国の消費市場は所得水準の上昇に伴い、持続的に拡大する見込みである。

実際、所得と消費支出には比例関係が存在する。消費財業界およびサービス業界に特化した英国の市場調査会社ユーロモニターが集計した71か国の1人あたり消費支出と1人あたりGDPのデータを基に散布図を作成すると、クロスカントリーでこの点を確認できる(右下図)。このデータに基づけば、2015年の1人



(資料) 国家統計局、総務省を基に日本総研作成  
(注) 全世帯、都市部と農村部の合計。



(資料) Euromonitor, World Consumer Income and Expenditure Patterns 2013 をもとに日本総研作成

あたり GDP が 1 万ドルまで増加すれば、中国の消費市場は 8 兆ドルに達する可能性がある。

■潜在的な市場規模が大きいサービス消費

これまで所得の増加に伴い、消費支出も増加したが、自動車に対する支出は大きく増加した一方、食料品に対する支出の増加ペースは緩慢にとどまるなど、すべての分野で一律的に拡大するわけではない。

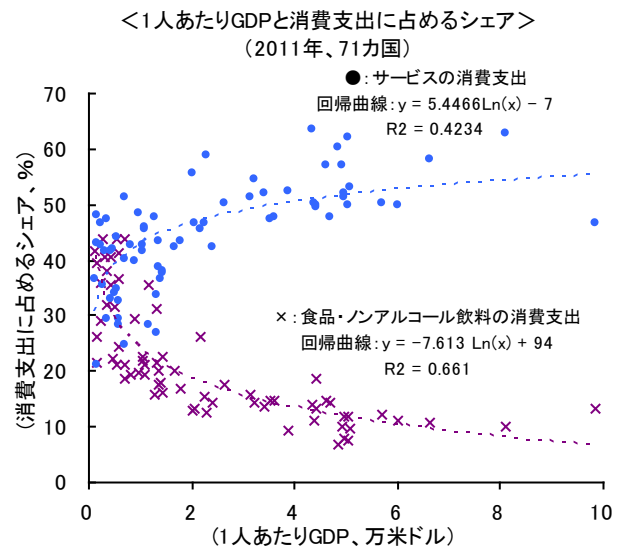
例えば、洗濯機や冷蔵庫の普及は日本の高度成長のけん引役となったものの、これらはもはや中国経済の今後の成長ドライバーにはならないであろう。2000 年から 2012 年にかけて、家電を含む家具・家事用品の支出は拡大したものの、拡大ペースは相対的に緩やかであり、全体シェアは 7.5%から 6.7%へ低下した。中国の都市部では、洗濯機や冷蔵庫など主要な家庭用耐久財の普及は一巡した。実際、2012 年の都市部における 100 世帯あたりの保有台数は洗濯機 98 台と日本と比べても遜色のない水準である。農村部でも 100 世帯あたり 67 台と普及後期にあるといえよう。冷蔵庫についてもそれぞれ 100 世帯あたり 99 台、67 台である。

今後、中国で大きく拡大すると見込まれる分野は、サービスである。中国の消費者ニーズは所得水準の上昇に伴い、多様化・高度化すると見込まれる。モノに対する質的な要求が強まると同時に、レジャーや宿泊、通信などのサービスに対する需要が特に大きく拡大する見通しである。

実際、ユーロモニターが集計した各国の 1 人あたりのサービスに対する支出と 1 人あたり GDP を整理すると、両者には強い相関関係がみられるばかりでなく、所得が高まると消費支出総額に占めるサービスのシェアが上昇するという明確な相関関係も観察される(右図)。このような現象は、所得が増加するとシェアが低下する食品・ノンアルコール飲料に対する支出とは対照的である。

中国消費者のサービス支出の拡大は、日本企業にとって大きなビジネスチャンスとなる。例えば、より多くの中国消費者が海外旅行をするようになることは、観光業にとって収益拡大の機会となる。世界観光機関によると、2012 年の中国の海外観光客の総支出額は 1,020 億ドルとドイツと米国を上回り、初めて世界一となった。年間の海外旅行客数は 8,318 万人にのぼる。渡航先は、香港とマカオが大半を占めるものの、近年では他のアジアが徐々にシェアを高めている。日本が受け入れた中国観光客数は 143 万人と 2005 年の 65 万人の 2 倍以上となり、今後さらなる増加が見込まれる。好影響は観光だけにとどまらない。中国の消費者ニーズの多様化・高度化は、質の高い商品・サービスの提供により国内での厳しい競争に勝ち残ってきたわが国非製造業が海外収益を伸ばすチャンスとなる。レジャー施設やホテル、運輸など多くの業界において、中国事業の拡大は大きなチャレンジとなる。

このように、中国の消費市場は所得水準の上昇に伴い、大きく拡大した。今後、中国の家計消費支出は一段と拡大する見込みである。とりわけ、急ピッチで拡大すると見込まれる分野はサービスであり、これは日本企業にとってもビジネスチャンスである。



(資料) Euromonitor, *World Consumer Income and Expenditure Patterns 2013* をもとに日本総研作成

## 韓国 厳しい経済環境が続くなかで後退する公約

### ■景気は緩やかな回復を続けるも力強さを欠く

4～6月期の実質 GDP 成長率（前期比）は1～3月期を上回る+1.1%となった（前年同期比は+2.3%）。前期比成長率が1%を上回ったのは9四半期ぶりである。輸出と固定資本形成が減速したが、民間消費と政府消費が加速した。固定資本形成については、昨年まで低迷していた建設投資が回復傾向にあるのに対して、設備投資は再びマイナスに転じた。総じて4～6月期の成長加速は景気対策（補正予算、予算の前倒し執行、不動産対策など）によるところが大きく、内外需の勢いは弱い。足元をみても緩やかな回復が続いている。

不況業種（建設、造船・海運、鉄鋼・石油化学など）では財務が悪化しており、最近、東洋セメント、東洋インターナショナルなど東洋財閥グループ会社が相次いで法定管理を申請した。需要の低迷が長引く一方、債務の返済負担が重くのしかかっている。信用リスクの高まりを受けて、銀行の大企業に対する融資姿勢が厳しくなっている（右上図）。

### ■後退する公約

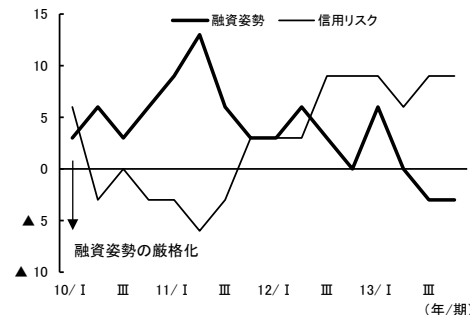
朴槿恵大統領は8月28日に、10大企業グループトップを招いた昼食会で投資の拡大を要請した。大統領が掲げる雇用の創出と創造経済の実現には、企業の協力が欠かせないからである。これに対して、大企業からは規制の見直しを求める意見が出された。「経済民主化」という大義名分の下で規制が強化されて、これが投資委縮の一因であると指摘する。

政府は福祉拡充などの公約実現に向け、8月上旬に税法改正案を公表したが、年間給与と所得が3,450万ウォンを超える勤労者（全体の28%）の税負担を増やす内容となっていたため、国民から多くの批判をまねき、撤回するにいたった。朴大統領はこれまで福祉を拡充する財源を、非課税・減免分野の縮小、地下経済の「あぶり出し」、政府支出の見直しなどで捻出するとして、増税に言及してこなかった。

結局、財源の確保が難しいため、「65歳以上のすべての高齢者に月20万ウォンの基礎老齢年金を支給する」という公約を修正し、「所得上位30%には支給せず、残り70%には最大20万ウォンまで支給する」方針へ変更した。さらに、朴大統領は（国民の理解が得られれば）増税の可能性を示唆した。韓国は今後5年以内に高齢社会（高齢人口比率が14%以上）を迎えるため（右下図）、年金や社会保障などの充実が喫緊の課題となっており、いずれかの段階で増税の実施は避けられないだろう。

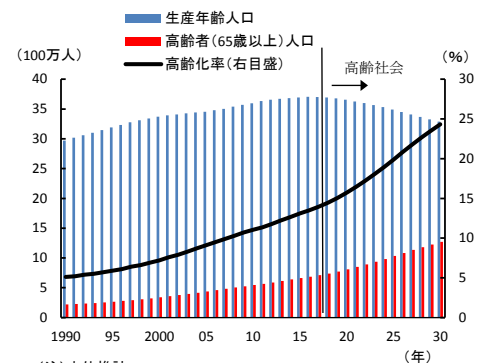
朴槿恵政権下で、従来の「財閥主導の成長モデル」に代わる新たな経済社会の建設がめざされているが、その道のりは大変厳しいものになると予想される。

<銀行の大企業に対する融資姿勢DI>



(注) 融資姿勢DI = 「著しく緩和した」とする者の割合 × 1 + 「やや緩和した」とする者の割合 × 0.5 - 「著しく厳格になった」とする者の割合 × 1 - 「やや厳格になった」とする者の割合 × 0.5  
 (資料) 韓国銀行、Economic Statistics System

<韓国の生産年齢人口と高齢化率>



(注) 中位推計  
 (資料) 韓国統計庁、Korea Statistical Information Service

上席主任研究員 向山 英彦

## 香港 景気は回復基調ながら、先行き懸念も増大

### ■4～6月期のGDP成長率は+3.3%

4～6月期の実質GDP成長率は前年同期比+3.3%と、1～3月期の実績(同+2.9%)を0.4%ポイント上回った(右上図)。前期比(季節調整済)でも+0.8%と、1～3月期(同+0.2%)に比べて伸びが加速しており、景気回復の勢いは年央に入って強まった。そのけん引役となったのは内需である。

4～6月期の内需を項目別にみると、個人消費は前年同期比+4.2%であった。1～3月期の同+6.3%を下回ったものの、良好な雇用・所得環境に支えられ、堅調な拡大を続けている。

総固定資本形成は前年同期比+6.9%と、2四半期ぶりにプラス転換を果たした(1～3月期は、同▲3.3%)。投資全体が好転した主因として、①懸念された民間部門の設備投資の減少が生じず、むしろ企業は機械やソフトウェアに対する投資支出を大幅に増加、②地域の(再)開発等に伴う公共工事の拡大という2点を指摘できる。ただし、民間建設投資は2四半期連続のマイナスとなったうえ、減少幅も拡大した。2013年入り後、不動産引き締め策が一段と強化され、民間部門の建設投資意欲が落ち込んだためと考えられる。

外需では、観光関連支出の増加等によりサービス輸出の伸びが加速した半面、財輸出の伸び率は低下した(1～3月期は前年同期比+8.8%→4～6月期は同+6.2%)。先進国市場における需要回復の遅れ、一部のアジア諸国での景気の減速などが財輸出の伸びを抑えた要因である。

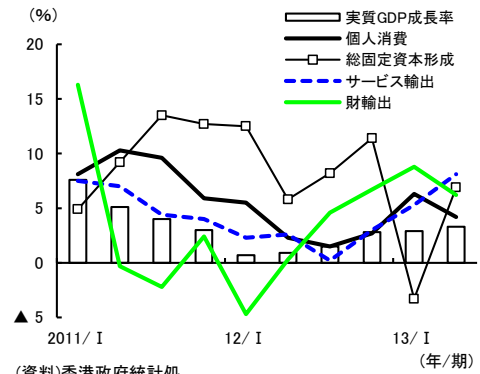
これらの経済指標を発表した際、香港政府はユーロ圏における景気の底打ち兆候などをあげ、世界経済の下振れリスクは若干軽減されたとの見解を示した。さらに、上半期の実績(前年同期比+3.1%)も加味し、+1.5～3.5%と想定していた通年の経済成長見通しの内、下限を+2.5%に上方修正している。

### ■8月の輸出が前年割れ、小売売上高の伸びも鈍化

直近の指標では、景気の先行き懸念を高めるものもみられる。例えば、輸出は7月に前年同月比+10.6%と、4カ月ぶりの高い伸びを記録したが、8月は同▲1.3%と、再び前年同月を下回った(右下図)。雇用環境の安定を背景に、実質小売売上高は拡大を続けているものの、そのペースは足許で鈍化(年初は前年同月比+10%超→8月は同+7.2%)している。

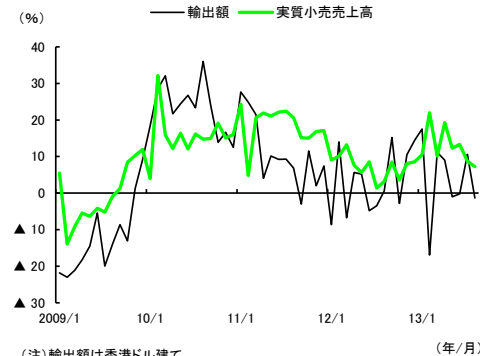
先行きを展望すると、中国経済の景気底打ちや米国での資産買い入れ縮小の先送りといったプラス要因の一方、米国の財政問題、東南アジアでの景気減速などの下振れ要因が混在し、外需は当面不安定な状況が続くとみられる。内需は総じて堅調なため、香港経済が年後半に失速する可能性は低いものの、外需の動きには注意を要するであろう。

＜GDP成長率と主要需要項目＞  
(前年同期比)



(資料)香港政府統計処

＜輸出と小売売上高＞  
(前年同月比)



(注)輸出額は香港ドル建て  
(資料)香港政府統計処

主任研究員 佐野 淳也

## マレーシア 経済政策で保護主義的な動き

### ■外需は年後半に回復の見込み

2013年4～6月期の実質GDP成長率は、外需が低迷するなか前年同期比+4.3%と前期の同+4.1%を若干上回った。また、年後半に入って、外需が回復に向かっているのは明るい材料である。8月の輸出は、前年同月比+6.7%と前月の+1.1%に続きプラスとなった(右上図)。

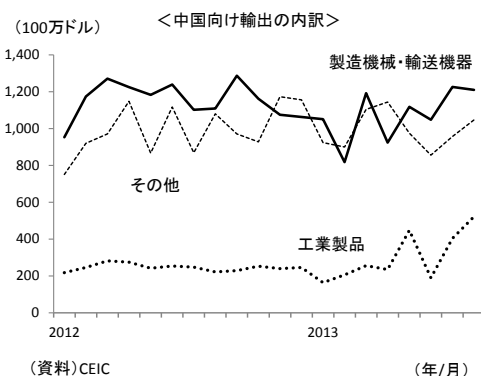
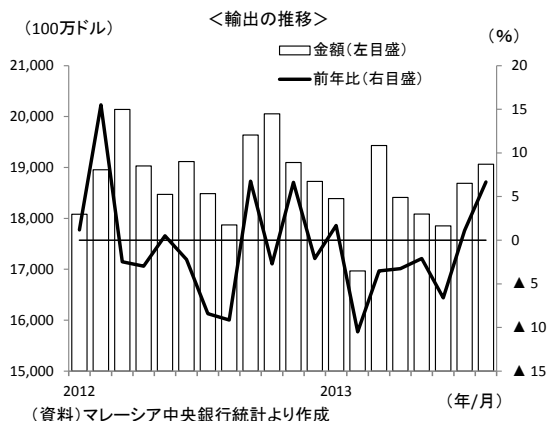
先進国向け輸出が、前年同月比ほぼ横ばいになったのに対し、新興国・途上国向けは同+18.2%と大幅な上昇となった。なかでも中国向けが同+15.8%と高水準を示した。中国向け輸出の内訳をみると、パームオイルや石油化学製品の低迷が続くものの、電子部品を中心とする工業製品(製造機械・輸送器機を除く)が、8月は前年同月比+135.6%となった(右下図)。ナジブ首相は、10月4日に習近平主席と会談し、両国間の包括的戦略パートナーシップを強化することで合意した。また合意事項に両国の貿易額を2012年の600億ドルから2017年には1,600億ドルまで引き上げるという野心的な目標が盛り込まれた。

### ■総選挙以降、保護主義的な動きが強まる

このようななか、ナジブ政権の経済政策に、5月の総選挙以降、保護主義的な動きがみられることに注意したい。総選挙において、与党連合の国民戦線(BN)が222議席中133議席を確保したものの、得票率では48%と野党の人民連盟(PR)の51%を下回った。支持基盤の強化が保護主義的な政策の背景にあると考えられる。

ナジブ政権は、2010年10月からTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉に参加してきたが、2013年7月には、ブミプトラ(マレー人および先住民族の総称)企業や中小企業に影響を及ぼすような政府調達規制緩和は行わないと明言した。9月には、ブミプトラ政策の第2弾とも呼ばれる政策を発表した。これは、ブミプトラを対象に①人的資本開発の強化(マラヤ工科大学の入学定員の拡大)、②企業における出資比率の引き上げ(国営企業ファンドを通じた出資)、③不動産など非金融資産保有の増大(廉価な住宅供給の拡大)、④起業家や事業の育成(事業開始資金の融資拡大、政府調達の拡大)、⑤社会経済向けサービスの改善を図るものである。いずれも国内の支持基盤に配慮した措置であり、これまでのTPPへの取り組みと整合性が取れていない。ナジブ首相は、10月のTPP首脳会議出席に際して「今年内の交渉妥結は困難」との見解を示したが、これは支持基盤に配慮した発言との見方が有力である。マレーシアはASEAN経済共同体(AEC)の実現でも重要なアクターであり、この保護主義的な動きには注意したい。

上席主任研究員 大泉 啓一郎





## フィリピン 期待される高成長の持続

### ■4～6月期の実質 GDP 成長率は 7.5%

4～6月期のフィリピンの実質 GDP 成長率は、4 四半期連続で 7%を超える 7.5%（前年同期比、以下同じ）となり、7.2%程度という事前予想を上回った。1～6月の成長率は 7.6%となり、通年の政府目標である 6～7%を達成することは確実な情勢となっている。これは、金融緩和や政府支出の拡大に後押しされて内需の好調が続いているためである。一方、外需は伸び悩んでおり、1～6月の輸出（通関ベース）は前年同期比▲4.4%となった。景気の好調を受け、多くの政府高官が経済政策運営に自信を示している。国家経済開発庁（NEDA）のバリサカン長官は、今回の発表を受け、フィリピン経済が従来と異なる高成長の軌道に乗ったと述べた。

4～6月期の成長率を産業別にみると、農業部門▲0.3%、鉱工業部門 10.3%、サービス業部門 7.4%であった。農業部門の不調は、酷暑や台風などの天候要因に影響されたものである。また、3 四半期連続で鉱工業部門の伸びがサービス業部門を上回っており、サービス業が成長をけん引してきた従来のパターンとは異なっている。鉱工業部門では、製造業が 10.3%、建設業が 17.4%となった。建設業では、公共部門が 31.1%、民間部門が 9.0%となり、公共部門が主導する傾向が続いている。サービス業部門では、金融業（9.6%）、不動産業（9.5%）などが特に伸びた。IMF は、豊富な流動性が生産的な部門に充当されることが重要であり、不動産バブルの発生に十分な注意が必要であること、金融部門を監視するために中央銀行の監督権限を強化する法改正を急ぐべきであることなどを指摘し、金融・不動産業の高成長に懸念を示している。

4～6月期の内需の伸びをみると、個人消費が 5.2%、政府消費が 17.0%であった。固定資本形成は 9.7%であったが、このうち建設投資が 15.6%、設備投資は 5.7%となった。需要面からは、公共部門主導の傾向が強まりつつあるといえよう。

<産業部門別のGDP成長率>

|            | 12年Q1 | 12年Q2 | 12年Q3 | 12年Q4 | 13年Q1 | 13年Q2 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 実質GNI成長率   | 5.7   | 6.5   | 7.3   | 6.4   | 7.8   | 6.8   |
| 実質GDP成長率   | 6.5   | 6.3   | 7.3   | 7.1   | 7.7   | 7.5   |
| 農業部門       | 1.1   | 0.6   | 4.4   | 4.9   | 3.1   | ▲0.3  |
| 鉱工業部門      | 5.3   | 5.8   | 7.1   | 8.9   | 10.9  | 10.3  |
| うち製造業      | 6.0   | 4.3   | 5.8   | 5.5   | 9.5   | 10.3  |
| うち建設業      | 1.5   | 11.6  | 17.8  | 29.9  | 29.3  | 17.4  |
| サービス業部門    | 8.4   | 7.7   | 8.0   | 6.5   | 6.8   | 7.4   |
| うち運輸・倉庫・通信 | 9.7   | 9.3   | 9.4   | 4.4   | 2.8   | 3.5   |
| うち金融       | 8.7   | 7.0   | 8.6   | 8.8   | 18.0  | 9.6   |

(資料) National Statistical Coordination Board

### ■期待される高成長の持続

消費者物価が落ち着いていることもあり、当面、金融緩和政策が維持されよう。また、財政赤字が縮小傾向にあるため、インフラ整備に向けた PPP プロジェクト推進の継続が期待される。2014年の実質 GDP 成長率の政府目標は 6.5～7.5%であるが、その達成は十分に可能であろう。ただし、成長のモメンタムを中期的に維持するためには、インフラ整備の加速を中心とした投資環境の改善や貧困対策などの構造改革を着実に実施していくことが不可欠である。

5月下旬以降、アジア地域からの資本流出が増加し、フィリピンでも為替レートの減価や株式・債券価格の下落が続いている。米国の金融政策が実際に変更されれば、影響がさらに拡大することも懸念される。しかし、フィリピンでは、海外労働者送金やビジネス・プロセス・アウトソーシングからの収入などを背景に経常収支の黒字が維持されていること、財政収支の改善や公的債務の減少がみられることなどが評価され、ソブリン格付けが引き上げられている。こうした中、海外投資家の信認が失われる可能性は低いと考えられる。したがって、フィリピンの金融資本市場に動揺が及んだとしても、影響は一時的なものにとどまることが予想される。

主任研究員 清水 聡

## ベトナム 不良債権が銀行融資の足かせに

### ■7～9月期のGDP成長率は5.5%

2013年7～9月期の実質GDP成長率は前年同期比5.5%であった。1～3月期が同4.8%、4～6月期が同5.0%であったため、1～9月の成長率は同5.1%となった。1～9月の供給項目別の寄与度をみると、農林水産業が0.4%ポイント、工業・建設が2.0%ポイント、サービス業が2.7%ポイントであった。

統計総局(GSO)は需要項目別GDPを発表していないものの、投資と個人消費はともに低調であった模様である。1～9月の粗固定資本投資は名目ベースで前年同期比6.1%増、消費財・サービスの総小売額は実質ベースで同5.3%増と、いずれも前年実績(前年比7.0%増、同6.2%)を下回った。一方、外需はスマートフォンなどの輸出が堅調で、成長率の押し上げに寄与したと思われる。統計総局は、9月末、10～12月期の成長率は前年同期比5.6～5.7%となり、2013年の成長率は5.2～5.3%になるとの見通しを明らかにした。世界銀行は2013年の成長率見通しを5.3%、アジア開発銀行(ADB)は5.2%とした。

### ■不良債権回収公社がようやく稼働

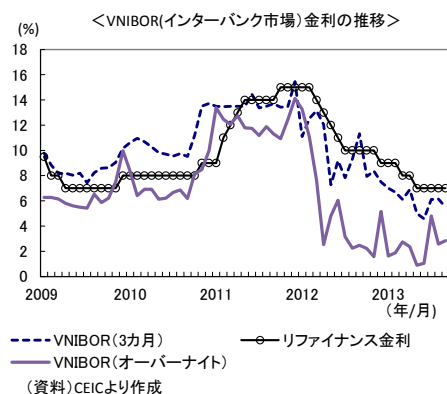
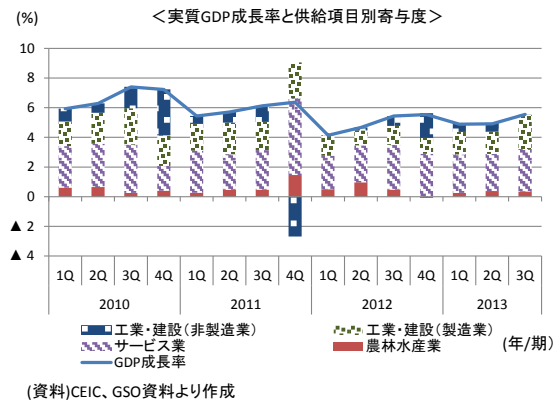
10～12月期および2014年の景気を左右する問題となるのが不良債権である。

中央銀行によれば、7月時点で金融機関が抱える不良債権は138兆ドン(65億ドル)で、不良債権比率は4.58%とされる。しかし、国内でも実際の不良債権は中央銀行の予想を大幅に上回るとされ、不良債権の全貌が見えない。現地報道によれば、ホーチミン市の地場銀行は収益が大幅に悪化するとともに、1月末時点で5.65%であった不良債権比率が8月末には5.99%に上昇したという。不良債権の元凶となっている不動産の供給過剰は解消の目途がたっていないため、不良債権比率はさらに上昇すると予想される。

政府と中央銀行の対応も鈍い。2013年3月までに完了するはずであった不良債権回収公社(VAMC)の設置は7月にずれ込み、10月によりやく債権回収第一号となる銀行が決まった。VAMCは、2013年中に40～70兆ドン(19～33億ドル)の債権を買い取るとしているものの、不動産開発は地方政府や大規模国営企業が関与する開発業者によって行われているケースが多い。そうした開発主体の経営責任が問われる事態に問題が発展し、処理がさらに遅れることも予想される。

中央銀行は、2012年2月からリファイナンス金利(商業銀行に対し保有する短期有価証券を担保として中央銀行が貸出を行う際に適用される金利)を段階的に引き下げ、市場に潤沢な資金を提供している。しかし、不良債権処理が遅れているため、銀行は融資に慎重で、9月末の与信残高は前年末比6.1%増と低い伸びにとどまっている。

主任研究員 三浦 有史



## 中国 景気が持ち直し、改革推進には有利な状況

### ■7～9月期の成長率は+7.8%

10月18日、国家統計局は7～9月期の実質GDP成長率を前年同期比+7.8%と発表した(右上図)。3四半期ぶりに前四半期の実績を上回り、年央を境に景気が持ち直していることが明確になった。

月次の指標をみても、景気の持ち直しが確認される。1～9月期の固定資産投資(除く、農村家計)は+20.2%と、1～6月期の実績(同+20.1%)を0.1%ポイント上回った。業種別では、製造業やインフラ関連などで、伸び率の低下傾向に歯止めがかかった。工業生産(付加価値ベース)も6月を底として、伸びは上向いており、景気てこ入れ策が奏功したものと考えられる。また、小売売上高(名目)は、前年同月比+13%前後の増加が続いている。習近平政権による公費節約の奨励など、消費意欲を冷え込ませる要因が依然解消されていないなか、堅調に拡大しているといえよう。

他方、9月の輸出が前年同月比▲0.3%と、3カ月ぶりのマイナスとなった。前年同月が高水準であったことに加え、米国の量的緩和縮小懸念に伴う新興国における景気減速が減少理由としてあげられる。主要国・地域別では、日本向けのプラス転換(13年1月以来)や米国向けの3カ月連続の増加を除けば、ASEAN向け伸び率の大幅な低下やEU向けの3カ月ぶりの前年割れなど、マイナス面が顕著であった(右下図)。新規輸出受注指数の改善傾向や米国での資産買い入れ縮小の先送りを加味すると、10月以降は前年比プラスに転じるとみられるものの、世界経済の先行き懸念も根強いことから、急回復は見込みにくい。

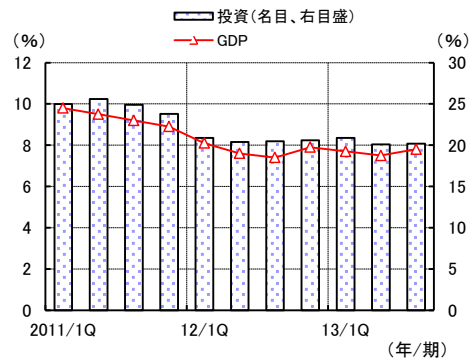
### ■国際会議の場で改革の推進をアピール

てこ入れ策による景気の持ち直し傾向もあつてか、政府は成長持続やリスクが制御可能であることなどをアピールするようになっている。APEC-CEOサミット(ビジネスリーダー達との会合)における習近平国家主席の演説(10月7日)は、その典型例としてあげられる。

この演説の中で、習国家主席は、経済成長率をはじめとする主要な経済指標が「想定範囲内」で推移していることを強調した。過剰生産能力、地方の債務問題、シャドーバンキングなど、中国経済が抱えるリスクについては、適切な措置を講じ、問題を未然に防いでいると発言した。

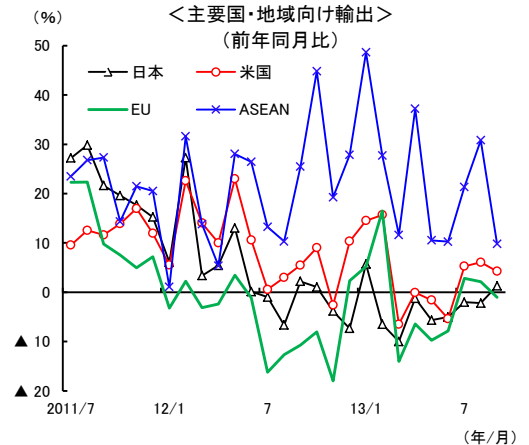
さらに、この演説では、改革深化に向けた包括的なプランを策定中と述べるとともに、改革の前途には難題が山積しているが、それを恐れて前進を躊躇すれば、これまでの成果も失いかねないと、強い口調で改革推進への決意を表明している。こうした決意をどの程度反映されたものになるのか、間もなく公表予定の改革プランの内容が注目される。

＜GDP成長率と投資＞  
(前年同期比)



(注) 投資は年初からの累計比  
(資料) 国家統計局

＜主要国・地域向け輸出＞  
(前年同月比)



(資料) 海関統計

主任研究員 佐野 淳也

## アジア諸国・地域の主要経済指標

### 1. 経済規模と所得水準 (2012年)

|             | 韓国     | 台湾     | 香港     | シンガポール | タイ    | マレーシア  | インドネシア | フィリピン | 中国     | インド    | ベトナム  |
|-------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 名目GDP (億ドル) | 11,292 | 4,748  | 2,630  | 2,767  | 3,655 | 3,064  | 8,802  | 2,503 | 82,350 | 18,248 | 1,414 |
| 人口(百万人)     | 50.0   | 23.3   | 7.2    | 5.3    | 67.9  | 29.3   | 242.3  | 103.8 | 1,354  | 1,223  | 88.8  |
| 1人当りGDP(ドル) | 22,548 | 20,389 | 36,661 | 52,080 | 5,381 | 10,444 | 3,633  | 2,412 | 6,082  | 1,492  | 1,592 |

(注) インドは2012年度。以下、表2~10は年度、表11~13は暦年。

### 2. 実質GDP成長率(前年比、前年同期比、%)

|           | 韓国  | 台湾   | 香港  | シンガポール | タイ   | マレーシア | インドネシア | フィリピン | 中国  | インド | ベトナム |
|-----------|-----|------|-----|--------|------|-------|--------|-------|-----|-----|------|
| 2011年     | 3.7 | 4.1  | 4.9 | 5.2    | 0.1  | 5.1   | 6.5    | 3.6   | 9.3 | 6.2 | 6.0  |
| 2012年     | 2.0 | 1.3  | 1.5 | 1.3    | 6.4  | 5.6   | 6.2    | 6.8   | 7.7 | 5.0 | 5.0  |
| 2012年1~3月 | 2.8 | 0.6  | 0.7 | 1.5    | 0.4  | 5.1   | 6.3    | 6.5   | 8.1 | 5.1 | 4.1  |
| 4~6月      | 2.4 | -0.1 | 0.9 | 2.3    | 4.4  | 5.6   | 6.4    | 6.3   | 7.6 | 5.4 | 4.7  |
| 7~9月      | 1.6 | 0.7  | 1.5 | 0.0    | 3.1  | 5.3   | 6.2    | 7.3   | 7.4 | 5.2 | 5.4  |
| 10~12月    | 1.5 | 4.0  | 2.8 | 1.5    | 19.1 | 6.5   | 6.1    | 7.1   | 7.9 | 4.7 | 5.5  |
| 2013年1~3月 | 1.5 | 1.6  | 2.9 | 0.2    | 5.4  | 4.1   | 6.0    | 7.7   | 7.7 | 4.8 | 4.8  |
| 4~6月      | 2.3 | 2.5  | 3.3 | 3.8    | 2.8  | 4.3   | 5.8    | 7.5   | 7.5 | 4.4 | 5.0  |

### 3. 製造業生産指数(前年比、前年同月比、%)

|         | 韓国   | 台湾    | 香港   | シンガポール | タイ    | マレーシア | インドネシア | フィリピン | 中国   | インド  | ベトナム  |
|---------|------|-------|------|--------|-------|-------|--------|-------|------|------|-------|
| 2011年   | 7.0  | 4.7   | 0.7  | 7.7    | -9.1  | 4.5   | 4.1    | 2.1   | 13.9 | 3.0  | 6.9   |
| 2012年   | 1.8  | 0.0   | -0.8 | 2.2    | 2.5   | 5.0   | 4.1    | 7.0   | 10.0 | 1.3  | 4.8   |
| 2012年7月 | -0.4 | -0.1  |      | 2.5    | -5.7  | 6.4   | 1.8    | 2.5   | 9.2  | 0.0  | 6.1   |
| 8月      | -2.4 | 1.3   | -0.1 | -2.3   | -11.3 | -1.1  | -2.3   | 2.4   | 8.9  | 2.4  | 4.4   |
| 9月      | -0.7 | 3.1   |      | -2.8   | -15.8 | 5.4   | 5.3    | 8.2   | 9.2  | -1.6 | 9.7   |
| 10月     | -1.9 | 4.7   |      | -2.1   | 35.9  | 6.6   | 9.8    | 17.0  | 9.6  | 9.9  | 5.7   |
| 11月     | 1.9  | 5.4   | 1.3  | -14.9  | 81.3  | 7.0   | 12.6   | 7.8   | 10.1 | -0.8 | 6.7   |
| 12月     | -0.5 | 2.5   |      | -12.3  | 22.7  | 4.3   | 10.9   | 6.0   | 10.3 | -0.8 | 5.9   |
| 2013年1月 | 8.0  | 19.7  |      | -0.4   | 10.1  | 5.9   | 10.9   | -0.8  | 9.9  | 2.7  | 21.1  |
| 2月      | -9.7 | -11.8 | 0.5  | -16.1  | -1.2  | -5.0  | 6.3    | -5.0  | 9.9  | 2.1  | -10.1 |
| 3月      | -3.0 | -3.0  |      | -4.0   | 0.7   | -0.1  | 9.9    | -11.0 | 8.9  | 4.3  | 5.6   |
| 4月      | 1.4  | -1.0  |      | 3.1    | -3.9  | 5.9   | 10.4   | -1.5  | 9.3  | 1.8  | 5.8   |
| 5月      | -1.4 | -1.1  | 0.3  | 1.9    | -7.5  | 2.9   | 5.7    | 9.5   | 9.2  | -3.6 | 6.7   |
| 6月      | -2.6 | -0.6  |      | -4.5   | -3.2  | 2.1   | 2.5    | 0.3   | 8.9  | -1.7 | 6.5   |
| 7月      | 0.9  | 2.0   |      | 2.8    | -4.9  | 5.4   | 3.2    | 5.2   | 9.7  | 3.0  | 7.0   |
| 8月      | 3.4  | -0.6  |      | 3.0    | -3.1  |       |        |       | 10.4 |      | 4.4   |

(注) ベトナムは2012年7月から指数の算出方法が変更されたため、過去との整合性がない。

### 4. 消費者物価指数(前年比、前年同月比、%)

|         | 韓国  | 台湾   | 香港  | シンガポール | タイ  | マレーシア | インドネシア | フィリピン | 中国  | インド  | ベトナム |
|---------|-----|------|-----|--------|-----|-------|--------|-------|-----|------|------|
| 2011年   | 4.0 | 1.4  | 5.3 | 5.2    | 3.8 | 3.2   | 5.4    | 4.4   | 5.4 | 8.4  | 18.0 |
| 2012年   | 2.2 | 1.9  | 4.1 | 4.6    | 3.0 | 1.7   | 4.3    | 3.2   | 2.6 | 10.4 | 9.1  |
| 2012年7月 | 1.5 | 2.5  | 1.6 | 4.0    | 2.7 | 1.4   | 4.6    | 3.2   | 1.8 | 9.8  | 5.4  |
| 8月      | 1.2 | 3.4  | 3.7 | 3.9    | 2.7 | 1.4   | 4.6    | 3.8   | 2.0 | 10.3 | 5.0  |
| 9月      | 2.0 | 3.0  | 3.8 | 4.7    | 3.4 | 1.3   | 4.3    | 3.7   | 1.9 | 9.1  | 6.5  |
| 10月     | 2.1 | 2.3  | 3.8 | 4.0    | 3.3 | 1.3   | 4.6    | 3.2   | 1.7 | 9.6  | 7.0  |
| 11月     | 1.6 | 1.6  | 3.7 | 3.5    | 2.7 | 1.3   | 4.3    | 2.8   | 2.0 | 9.5  | 7.1  |
| 12月     | 1.6 | 1.6  | 3.7 | 4.3    | 3.6 | 1.2   | 4.3    | 3.0   | 2.5 | 11.2 | 6.8  |
| 2013年1月 | 1.4 | 1.2  | 3.0 | 3.6    | 3.4 | 1.3   | 4.6    | 3.1   | 2.0 | 11.6 | 7.1  |
| 2月      | 1.4 | 3.0  | 4.4 | 5.0    | 3.2 | 1.5   | 5.3    | 3.4   | 3.2 | 12.1 | 7.0  |
| 3月      | 1.3 | 1.4  | 3.6 | 3.5    | 2.7 | 1.6   | 5.9    | 3.2   | 2.1 | 11.4 | 6.6  |
| 4月      | 1.2 | 1.0  | 4.0 | 1.4    | 2.4 | 1.7   | 5.6    | 2.6   | 2.4 | 10.2 | 6.6  |
| 5月      | 1.0 | 0.7  | 3.9 | 1.6    | 2.3 | 1.8   | 5.5    | 2.6   | 2.1 | 10.7 | 6.4  |
| 6月      | 1.0 | 0.6  | 4.1 | 1.8    | 2.3 | 1.8   | 5.9    | 2.7   | 2.7 | 11.1 | 6.7  |
| 7月      | 1.4 | 0.1  | 6.9 | 1.9    | 2.0 | 2.0   | 8.6    | 2.5   | 2.7 | 10.8 | 7.3  |
| 8月      | 1.3 | -0.8 | 4.5 | 2.0    | 1.6 | 1.9   | 8.8    | 2.1   | 2.6 | 10.7 | 7.5  |
| 9月      | 0.8 | 0.8  |     |        |     |       | 8.4    |       | 3.1 |      |      |

### 5. 失業率(%)

|         | 韓国  | 台湾  | 香港  | シンガポール | タイ  | マレーシア | インドネシア | フィリピン | 中国  | インド | ベトナム |
|---------|-----|-----|-----|--------|-----|-------|--------|-------|-----|-----|------|
| 2011年   | 3.4 | 4.4 | 3.4 | 2.0    | 0.7 | 3.1   | 6.6    | 7.0   | 4.1 |     | 2.3  |
| 2012年   | 3.2 | 4.2 | 3.3 | 2.0    | 0.7 | 3.1   | 6.1    | 7.0   | 4.1 |     | 2.0  |
| 2012年7月 | 3.1 | 4.3 | 3.2 |        | 0.6 | 3.2   |        |       |     |     |      |
| 8月      | 3.0 | 4.4 | 3.3 | 1.9    | 0.6 | 3.1   | 6.1    | 7.0   |     |     |      |
| 9月      | 2.9 | 4.3 | 3.3 |        | 0.6 | 3.1   |        |       | 4.1 |     |      |
| 10月     | 2.8 | 4.3 | 3.4 |        | 0.6 | 3.1   |        |       |     |     |      |
| 11月     | 2.8 | 4.3 | 3.4 | 1.8    | 0.4 | 3.1   |        | 6.8   |     |     |      |
| 12月     | 2.9 | 4.2 | 3.2 |        | 0.5 | 3.1   |        |       | 4.1 |     |      |
| 2013年1月 | 3.4 | 4.2 | 3.4 |        | 0.8 | 3.0   |        |       |     |     |      |
| 2月      | 4.0 | 4.2 | 3.4 | 1.9    | 0.6 | 3.1   |        | 7.1   |     |     |      |
| 3月      | 3.5 | 4.2 | 3.5 |        | 0.7 | 3.1   |        |       | 4.1 |     |      |
| 4月      | 3.2 | 4.1 | 3.5 |        | 0.9 | 3.0   |        |       |     |     |      |
| 5月      | 3.0 | 4.1 | 3.4 | 2.1    | 0.8 | 3.0   |        | 7.5   |     |     |      |
| 6月      | 3.1 | 4.1 | 3.3 |        | 0.6 | 3.1   |        |       | 4.1 |     |      |
| 7月      | 3.1 | 4.3 | 3.3 |        | 0.9 | 3.2   |        |       |     |     |      |
| 8月      | 3.0 | 4.3 | 3.3 |        |     | 3.3   |        | 7.3   |     |     |      |

6. 輸出 (通関ベース、FOB建、100万米ドル、%)

|         | 韓国      | 前年比  | 台湾      | 前年比   | 香港      | 前年比   | シンガポール  | 前年比   | タイ      | 前年比  |
|---------|---------|------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|------|
| 2011年   | 555,214 | 19.0 | 308,257 | 12.3  | 429,171 | 9.9   | 409,450 | 16.4  | 222,576 | 15.1 |
| 2012年   | 547,870 | -1.3 | 301,181 | -2.3  | 443,119 | 3.3   | 408,404 | -0.3  | 229,236 | 3.0  |
| 2012年7月 | 44,668  | -8.7 | 24,897  | -11.5 | 35,613  | -3.1  | 33,454  | -3.3  | 19,351  | -5.4 |
| 8月      | 43,045  | -6.0 | 24,744  | -4.0  | 40,182  | 1.1   | 33,426  | -9.0  | 19,696  | -7.2 |
| 9月      | 45,413  | -2.4 | 27,157  | 10.3  | 40,386  | 15.8  | 33,714  | -5.1  | 20,776  | 0.2  |
| 10月     | 47,088  | 1.0  | 26,514  | -1.9  | 38,317  | -2.5  | 35,984  | 6.1   | 19,524  | 15.6 |
| 11月     | 47,805  | 3.9  | 24,877  | 0.8   | 39,708  | 10.9  | 34,112  | 2.5   | 19,555  | 26.9 |
| 12月     | 44,875  | -6.0 | 26,076  | 8.9   | 40,121  | 14.8  | 31,511  | -8.5  | 18,101  | 13.5 |
| 2013年1月 | 45,678  | 10.9 | 25,672  | 21.6  | 39,314  | 17.7  | 33,686  | 6.5   | 18,269  | 16.1 |
| 2月      | 42,339  | -8.6 | 19,731  | -15.8 | 27,818  | -16.9 | 29,320  | -18.6 | 17,928  | -5.8 |
| 3月      | 47,321  | -0.0 | 27,213  | 3.2   | 37,597  | 11.2  | 33,314  | -6.8  | 20,770  | 4.5  |
| 4月      | 46,167  | 0.2  | 25,043  | -1.9  | 37,391  | 9.0   | 35,333  | 2.4   | 17,409  | 3.0  |
| 5月      | 48,322  | 3.1  | 26,296  | 0.7   | 37,561  | -1.0  | 35,367  | 2.4   | 19,830  | -5.2 |
| 6月      | 46,684  | -1.0 | 26,487  | 8.7   | 35,780  | -0.2  | 33,274  | -1.6  | 19,098  | -3.4 |
| 7月      | 45,826  | 2.6  | 25,298  | 1.6   | 39,375  | 10.6  | 35,156  | 5.1   | 19,064  | -1.5 |
| 8月      | 46,302  | 7.6  | 25,644  | 3.6   | 39,649  | -1.3  | 34,050  | 1.9   | 20,468  | 3.9  |
| 9月      | 44,709  | -1.5 | 25,253  | -7.0  |         |       |         |       |         |      |

|         | マレーシア   | 前年比   | インドネシア  | 前年比   | フィリピン  | 前年比   | 中国        | 前年比  | インド     | 前年比   | ベトナム    | 前年比   |
|---------|---------|-------|---------|-------|--------|-------|-----------|------|---------|-------|---------|-------|
| 2011年   | 228,370 | 14.7  | 203,497 | 28.9  | 48,305 | -6.2  | 1,898,381 | 20.3 | 305,964 | 21.8  | 96,906  | 34.2  |
| 2012年   | 227,667 | -0.3  | 190,032 | -6.6  | 52,097 | 7.9   | 2,048,714 | 7.9  | 299,610 | -2.1  | 114,631 | 18.3  |
| 2012年7月 | 18,485  | -8.4  | 16,091  | -7.6  | 4,727  | 6.0   | 176,918   | 1.0  | 23,140  | -12.4 | 10,217  | 8.1   |
| 8月      | 17,872  | -9.1  | 14,047  | -24.7 | 3,810  | -8.7  | 177,870   | 2.7  | 23,134  | -6.6  | 10,539  | 14.3  |
| 9月      | 19,637  | 6.8   | 15,898  | -9.4  | 4,811  | 23.5  | 186,116   | 9.8  | 24,878  | -6.3  | 9,460   | 18.2  |
| 10月     | 20,053  | -2.7  | 15,324  | -9.6  | 4,410  | 6.1   | 175,516   | 11.5 | 24,027  | 1.7   | 10,253  | 16.1  |
| 11月     | 19,098  | 6.6   | 16,317  | -5.3  | 3,611  | 7.3   | 179,341   | 2.8  | 23,250  | -0.1  | 10,429  | 18.6  |
| 12月     | 18,726  | -2.1  | 15,394  | -9.9  | 3,971  | 16.6  | 199,112   | 14.0 | 25,520  | 0.6   | 10,341  | 8.3   |
| 2013年1月 | 18,388  | 1.7   | 15,375  | -1.2  | 4,011  | -2.7  | 187,280   | 25.0 | 25,680  | 1.2   | 11,472  | 61.7  |
| 2月      | 16,967  | -10.5 | 15,016  | -4.3  | 3,741  | -15.6 | 139,313   | 21.8 | 25,762  | 2.3   | 7,216   | -12.8 |
| 3月      | 19,431  | -3.5  | 15,025  | -12.9 | 4,329  | 0.1   | 182,120   | 10.0 | 30,742  | 6.6   | 11,076  | 17.4  |
| 4月      | 18,410  | -3.3  | 14,761  | -8.7  | 4,121  | -11.1 | 186,981   | 14.6 | 23,584  | -0.9  | 9,375   | 4.7   |
| 5月      | 18,085  | -2.1  | 16,133  | -4.1  | 4,893  | -0.8  | 182,709   | 0.9  | 23,969  | -3.3  | 11,515  | 19.7  |
| 6月      | 17,854  | -6.6  | 14,759  | -4.4  | 4,490  | 4.1   | 174,275   | -3.1 | 23,593  | -5.3  | 10,886  | 9.3   |
| 7月      | 18,691  | 1.1   | 15,109  | -6.1  | 4,836  | 2.3   | 185,973   | 5.1  | 25,834  | 11.6  | 11,780  | 15.3  |
| 8月      | 19,064  | 6.7   | 13,161  | -6.3  |        |       | 190,608   | 7.2  | 26,136  | 13.0  | 11,843  | 12.4  |
| 9月      |         |       |         |       |        |       | 185,645   | -0.3 |         |       | 11,300  | 19.4  |

(注)ベトナムとインドネシアは政府が期間累計値しか公表しないため、月次データはCEICを採用。

7. 輸入 (通関ベース、CIF建、100万米ドル、%)

|         | 韓国      | 前年比   | 台湾      | 前年比  | 香港      | 前年比   | シンガポール  | 前年比   | タイ      | 前年比   |
|---------|---------|-------|---------|------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| 2011年   | 524,413 | 23.3  | 281,438 | 12.0 | 483,939 | 11.6  | 365,718 | 17.7  | 228,787 | 25.1  |
| 2012年   | 519,584 | -0.9  | 270,473 | -3.9 | 504,702 | 4.3   | 379,723 | 3.8   | 249,988 | 9.3   |
| 2012年7月 | 41,977  | -5.2  | 23,916  | -3.3 | 40,787  | -1.4  | 30,687  | 2.2   | 21,118  | 12.8  |
| 8月      | 41,116  | -9.4  | 21,310  | -7.9 | 44,828  | 1.4   | 30,654  | -11.3 | 20,997  | -7.8  |
| 9月      | 42,560  | -6.0  | 23,068  | 1.2  | 46,208  | 15.5  | 30,508  | 1.0   | 19,870  | -6.6  |
| 10月     | 43,380  | 1.6   | 23,262  | -1.8 | 43,822  | 3.7   | 33,111  | 9.8   | 22,365  | 23.6  |
| 11月     | 43,382  | 0.9   | 21,482  | 0.1  | 45,394  | 9.5   | 32,560  | 0.7   | 21,131  | 25.2  |
| 12月     | 43,069  | -5.3  | 21,963  | 1.6  | 46,308  | 12.3  | 29,851  | 4.5   | 20,782  | 6.3   |
| 2013年1月 | 45,259  | 4.0   | 25,161  | 22.2 | 42,856  | 24.1  | 32,182  | 4.9   | 23,756  | 40.9  |
| 2月      | 40,395  | -10.4 | 18,809  | -8.5 | 32,200  | -18.3 | 27,336  | -13.6 | 19,485  | 5.3   |
| 3月      | 44,029  | -2.3  | 24,019  | 0.2  | 43,931  | 11.3  | 29,604  | -12.6 | 21,137  | -15.2 |
| 4月      | 43,723  | -0.5  | 22,775  | -8.2 | 42,891  | 7.7   | 32,021  | 3.5   | 21,551  | 7.3   |
| 5月      | 42,412  | -4.7  | 21,892  | -8.0 | 43,265  | 1.8   | 31,850  | -3.4  | 22,135  | -3.5  |
| 6月      | 40,714  | -3.0  | 23,227  | 6.8  | 42,181  | 1.3   | 29,586  | -8.3  | 21,013  | 3.0   |
| 7月      | 43,296  | 3.1   | 22,078  | -7.7 | 44,165  | 8.3   | 32,374  | 5.5   | 21,345  | 1.1   |
| 8月      | 41,501  | 0.9   | 21,057  | -1.2 | 44,751  | -0.2  | 30,907  | 0.8   | 20,563  | -2.1  |
| 9月      | 41,028  | -3.6  | 22,902  | -0.7 |         |       |         |       |         |       |

|         | マレーシア   | 前年比  | インドネシア  | 前年比  | フィリピン  | 前年比  | 中国        | 前年比   | インド     | 前年比  | ベトナム    | 前年比   |
|---------|---------|------|---------|------|--------|------|-----------|-------|---------|------|---------|-------|
| 2011年   | 187,672 | 13.7 | 177,435 | 30.8 | 60,495 | 10.1 | 1,743,483 | 24.9  | 489,319 | 32.3 | 106,750 | 25.9  |
| 2012年   | 196,832 | 4.9  | 191,691 | 8.0  | 62,128 | 2.7  | 1,818,405 | 4.3   | 491,917 | 0.5  | 114,347 | 7.1   |
| 2012年7月 | 17,336  | 2.9  | 16,354  | 0.9  | 5,047  | 0.9  | 151,617   | 4.6   | 40,619  | -1.2 | 9,971   | 18.4  |
| 8月      | 15,608  | -2.2 | 13,814  | -8.4 | 5,184  | 2.1  | 151,451   | -2.5  | 37,307  | -6.7 | 10,493  | 8.7   |
| 9月      | 17,527  | 14.0 | 15,349  | 1.2  | 5,327  | 4.8  | 158,652   | 2.4   | 41,752  | 5.0  | 9,452   | -3.1  |
| 10月     | 16,918  | 6.2  | 17,208  | 10.8 | 5,277  | 5.0  | 143,446   | 2.3   | 44,661  | 8.5  | 10,331  | 9.4   |
| 11月     | 16,227  | 8.7  | 16,935  | 10.0 | 5,208  | 3.7  | 159,860   | 0.1   | 41,332  | 5.7  | 10,009  | 6.4   |
| 12月     | 16,032  | -2.9 | 15,582  | -5.4 | 5,300  | 14.4 | 168,122   | 6.3   | 43,363  | 8.3  | 10,045  | -5.0  |
| 2013年1月 | 17,333  | 14.0 | 15,450  | 6.2  | 4,727  | -8.0 | 159,156   | 29.6  | 45,670  | 6.3  | 10,696  | 54.5  |
| 2月      | 14,313  | -7.2 | 15,313  | 3.0  | 4,707  | -5.8 | 124,437   | -15.0 | 41,252  | 2.8  | 7,210   | -15.7 |
| 3月      | 17,853  | 6.7  | 14,887  | -8.8 | 4,922  | -8.4 | 183,092   | 14.2  | 40,548  | -4.3 | 11,580  | 27.1  |
| 4月      | 18,067  | 9.1  | 16,463  | -2.8 | 5,141  | 7.4  | 168,748   | 16.7  | 42,046  | 11.2 | 10,376  | 14.0  |
| 5月      | 17,152  | 0.7  | 16,661  | -2.2 | 5,258  | -2.4 | 162,314   | -0.3  | 44,673  | 7.0  | 11,994  | 17.2  |
| 6月      | 16,496  | 1.6  | 15,636  | -6.5 | 4,860  | -4.8 | 147,028   | -0.8  | 35,901  | 0.1  | 10,617  | 10.8  |
| 7月      | 17,811  | 2.7  | 17,418  | 6.5  | 5,486  | 8.7  | 168,190   | 10.9  | 38,103  | -6.2 | 11,125  | 11.6  |
| 8月      | 16,909  | 8.3  | 13,028  | -5.7 |        |      | 162,090   | 7.0   | 37,054  | -0.7 | 11,390  | 8.6   |
| 9月      |         |      |         |      |        |      | 170,438   | 7.4   |         |      | 11,600  | 22.7  |

(注)ベトナムとインドネシアは政府が期間累計値しか公表しないため、月次データはCEICを採用。

8. 貿易収支(100万米ドル)

|         | 韓国     | 台湾     | 香港      | シンガポール | タイ      | マレーシア  | インドネシア | フィリピン   | 中国      | インド      | ベトナム   |
|---------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|----------|--------|
| 2011年   | 30,801 | 26,820 | -54,768 | 43,732 | -6,211  | 40,698 | 26,061 | -12,190 | 154,897 | -183,356 | -9,844 |
| 2012年   | 28,285 | 30,708 | -61,583 | 28,681 | -20,752 | 30,835 | -1,659 | -10,031 | 230,309 | -192,307 | 284    |
| 2012年7月 | 2,691  | 981    | -5,174  | 2,767  | -1,768  | 1,149  | -264   | -320    | 25,301  | -17,479  | 246    |
| 8月      | 1,930  | 3,434  | -4,646  | 2,772  | -1,301  | 2,264  | 233    | -1,374  | 26,418  | -14,173  | 46     |
| 9月      | 2,853  | 4,088  | -5,823  | 3,206  | 906     | 2,110  | 550    | -516    | 27,464  | -16,874  | 9      |
| 10月     | 3,708  | 3,252  | -5,505  | 2,873  | -2,841  | 3,135  | -1,884 | -867    | 32,070  | -20,634  | -79    |
| 11月     | 4,424  | 3,395  | -5,686  | 1,552  | -1,576  | 2,872  | -618   | -1,597  | 19,481  | -18,082  | 420    |
| 12月     | 1,806  | 4,113  | -6,187  | 1,660  | -2,681  | 2,694  | -188   | -1,329  | 30,991  | -17,843  | 296    |
| 2013年1月 | 420    | 512    | -3,542  | 1,504  | -5,487  | 1,054  | -75    | -716    | 28,124  | -19,991  | 776    |
| 2月      | 1,943  | 922    | -4,382  | 1,984  | -1,557  | 2,654  | -298   | -966    | 14,876  | -15,490  | 6      |
| 3月      | 3,291  | 3,195  | -6,334  | 3,710  | -367    | 1,578  | 138    | -593    | -972    | -9,806   | -504   |
| 4月      | 2,443  | 2,268  | -5,500  | 3,312  | -4,141  | 343    | -1,703 | -1,020  | 18,233  | -18,462  | -1,001 |
| 5月      | 5,910  | 4,404  | -5,703  | 3,517  | -2,304  | 932    | -527   | -365    | 20,395  | -20,704  | -479   |
| 6月      | 5,971  | 3,261  | -6,401  | 3,688  | -1,915  | 1,358  | -877   | -370    | 27,247  | -12,308  | 269    |
| 7月      | 2,530  | 3,221  | -4,790  | 2,782  | -2,281  | 880    | -2,309 | -650    | 17,783  | -12,268  | 656    |
| 8月      | 4,801  | 4,587  | -5,102  | 3,143  | -95     | 2,155  | 132    |         | 28,519  | -10,918  | 453    |
| 9月      | 3,681  | 2,351  |         |        |         |        |        |         | 15,207  |          | -300   |

9. 経常収支 (100万米ドル)

|         | 韓国     | 台湾     | 香港     | シンガポール | タイ     | マレーシア  | インドネシア  | フィリピン | 中国      | インド     | ベトナム |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|---------|---------|------|
| 2011年   | 26,505 | 41,230 | 14,001 | 65,332 | 4,105  | 33,598 | 2,070   | 7,125 | 136,097 | -78,180 | 236  |
| 2012年   | 43,139 | 49,923 | 5,479  | 51,370 | -1,470 | 18,721 | -24,431 | 7,177 | 193,139 | -87,843 |      |
| 2012年7月 | 6,144  |        |        |        | -818   |        |         | 900   |         |         |      |
| 8月      | 2,504  | 12,017 | 4,059  | 13,610 | -348   | 3,082  | -5,264  | 181   | 70,779  | -20,976 |      |
| 9月      | 5,913  |        |        |        | 605    |        |         | 1,148 |         |         |      |
| 10月     | 5,782  |        |        |        | 54     |        |         | 811   |         |         |      |
| 11月     | 6,906  | 15,942 | 2,203  | 10,478 | 856    | 7,524  | -7,827  | 488   | 45,112  | -31,857 |      |
| 12月     | 2,140  |        |        |        | 1,022  |        |         | 918   |         |         |      |
| 2013年1月 | 2,332  |        |        |        | -2,161 |        |         | 1,087 |         |         |      |
| 2月      | 2,713  | 11,061 | -171   | 11,395 | 1,644  | 2,800  | -5,819  | 1,178 | 47,556  | -18,078 |      |
| 3月      | 4,927  |        |        |        | 2,011  |        |         | 874   |         |         |      |
| 4月      | 3,927  |        |        |        | -3,809 |        |         | 603   |         |         |      |
| 5月      | 8,639  | 13,796 | -320   | 14,413 | -1,885 | 828    | -9,848  | 854   | 48,200  | -21,772 |      |
| 6月      | 7,237  |        |        |        | -969   |        |         | 1,027 |         |         |      |
| 7月      | 6,767  |        |        |        | -1,639 |        |         |       |         |         |      |
| 8月      | 5,735  |        |        |        | 1,285  |        |         |       |         |         |      |

10. 外貨準備 (年末値、月末値、金を除く、100万米ドル)

|         | 韓国      | 台湾      | 香港      | シンガポール  | タイ      | マレーシア   | インドネシア  | フィリピン  | 中国        | インド     | ベトナム |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|-----------|---------|------|
| 2011年   | 304,236 | 385,547 | 285,408 | 237,737 | 175,124 | 133,313 | 99,787  | 67,290 | 3,181,148 | 267,375 |      |
| 2012年   | 326,968 | 403,169 | 317,336 | 259,307 | 181,608 | 139,683 | 101,408 | 73,478 | 3,311,589 | 266,354 |      |
| 2012年7月 | 311,368 | 391,108 | 296,272 | 244,138 | 175,370 | 136,654 | 95,551  | 69,675 | 3,239,952 | 263,060 |      |
| 8月      | 313,904 | 394,226 | 298,187 | 246,181 | 179,229 | 137,691 | 97,758  | 70,177 | 3,272,901 | 264,223 |      |
| 9月      | 319,034 | 397,954 | 301,223 | 252,148 | 183,627 | 137,437 | 98,412  | 70,985 | 3,285,095 | 266,679 |      |
| 10月     | 320,481 | 399,216 | 301,733 | 254,218 | 181,428 | 138,718 | 98,782  | 71,227 | 3,287,426 | 267,065 |      |
| 11月     | 322,330 | 400,956 | 305,207 | 255,769 | 181,627 | 140,070 | 99,701  | 73,297 | 3,297,671 | 266,707 |      |
| 12月     | 323,207 | 403,169 | 317,336 | 259,307 | 181,608 | 139,683 | 101,408 | 73,478 | 3,311,589 | 268,418 |      |
| 2013年1月 | 325,149 | 406,557 | 304,674 | 258,844 | 181,714 | 138,264 | 97,101  | 74,971 | 3,410,061 | 268,533 |      |
| 2月      | 322,601 | 404,080 | 304,774 | 259,136 | 179,272 | 138,750 | 93,914  | 73,836 | 3,395,418 | 264,620 |      |
| 3月      | 322,614 | 401,890 | 303,796 | 258,186 | 177,803 | 139,640 | 93,568  | 74,050 | 3,442,649 | 266,354 |      |
| 4月      | 324,005 | 405,194 | 306,504 | 261,678 | 178,375 | 142,925 | 96,569  | 74,193 | 3,534,482 | 269,918 |      |
| 5月      | 323,301 | 406,616 | 305,713 | 258,378 | 175,263 | 141,589 | 94,680  | 73,325 | 3,514,801 | 265,061 |      |
| 6月      | 321,645 | 406,606 | 303,582 | 259,816 | 170,841 | 136,164 | 88,479  | 73,592 | 3,496,686 | 260,898 |      |
| 7月      | 324,915 | 409,118 | 299,896 | 261,096 | 172,249 | 134,901 | 82,590  | 74,945 |           | 256,825 |      |
| 8月      | 326,299 | 409,388 | 303,902 | 261,874 | 168,770 | 129,756 |         | 74,611 |           | 253,768 |      |

(注) シンガポールは金を含む。

11. 為替レート (対米ドル、年平均、月中平均)

|         | 韓国      | 台湾    | 香港     | シンガポール | タイ    | マレーシア | インドネシア | フィリピン | 中国     | インド   | ベトナム   |
|---------|---------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 2011年   | 1,107.4 | 29.39 | 7.7837 | 1.257  | 30.50 | 3.06  | 8,766  | 43.30 | 6.4629 | 46.73 | 20,697 |
| 2012年   | 1,125.4 | 29.56 | 7.7569 | 1.249  | 31.06 | 3.09  | 9,364  | 42.22 | 6.3063 | 53.28 | 20,872 |
| 2012年7月 | 1,142.3 | 30.00 | 7.7561 | 1.261  | 31.63 | 3.17  | 9,434  | 41.90 | 6.3711 | 55.45 | 20,868 |
| 8月      | 1,132.0 | 29.97 | 7.7563 | 1.248  | 31.43 | 3.12  | 9,492  | 42.09 | 6.3596 | 55.56 | 20,860 |
| 9月      | 1,111.4 | 29.31 | 7.7533 | 1.227  | 30.78 | 3.06  | 9,570  | 41.72 | 6.2849 | 52.75 | 20,880 |
| 10月     | 1,106.1 | 29.27 | 7.7517 | 1.224  | 30.69 | 3.05  | 9,593  | 41.41 | 6.2645 | 53.10 | 20,845 |
| 11月     | 1,087.2 | 29.13 | 7.7506 | 1.223  | 30.71 | 3.06  | 9,618  | 41.10 | 6.2336 | 54.86 | 20,850 |
| 12月     | 1,075.9 | 29.05 | 7.7503 | 1.220  | 30.64 | 3.06  | 9,636  | 41.02 | 6.2340 | 54.67 | 20,835 |
| 2013年1月 | 1,066.7 | 29.09 | 7.7531 | 1.228  | 30.07 | 3.04  | 9,659  | 40.72 | 6.2220 | 54.28 | 20,845 |
| 2月      | 1,086.5 | 29.61 | 7.7553 | 1.238  | 29.82 | 3.10  | 9,682  | 40.67 | 6.2330 | 53.84 | 20,940 |
| 3月      | 1,112.6 | 29.90 | 7.7627 | 1.241  | 29.29 | 3.10  | 9,718  | 40.81 | 6.2143 | 54.35 | 20,940 |
| 4月      | 1,121.1 | 29.83 | 7.7632 | 1.238  | 29.09 | 3.05  | 9,723  | 41.17 | 6.1866 | 54.38 | 20,935 |
| 5月      | 1,111.8 | 29.76 | 7.7617 | 1.249  | 29.76 | 3.02  | 9,757  | 41.35 | 6.1410 | 54.99 | 21,005 |
| 6月      | 1,135.4 | 29.93 | 7.7604 | 1.260  | 30.82 | 3.14  | 9,871  | 42.98 | 6.1345 | 58.38 | 21,165 |
| 7月      | 1,126.1 | 29.96 | 7.7566 | 1.269  | 31.13 | 3.19  | 10,071 | 43.37 | 6.1342 | 59.81 | 21,160 |
| 8月      | 1,116.3 | 29.96 | 7.7555 | 1.272  | 31.61 | 3.28  | 10,533 | 43.91 | 6.1218 | 62.92 | 21,145 |
| 9月      | 1,084.8 | 29.67 | 7.7544 | 1.263  | 31.70 | 3.25  | 11,321 | 43.76 | 6.1204 | 63.83 | 21,110 |

(注) ベトナムはCEICデータベース (外国貿易銀行の仲値が原出所)。

12. 貸出金利 (年平均、月中平均、%)

|         | 韓国   | 台湾   | 香港   | シンガポール | タイ   | マレーシア | インドネシア | フィリピン | 中国   | インド   | ベトナム |
|---------|------|------|------|--------|------|-------|--------|-------|------|-------|------|
| 2011年   | 3.44 | 1.15 | 0.27 | 0.25   | 3.11 | 3.13  | 9.18   | 1.29  | 5.42 | 9.49  | 13.6 |
| 2012年   | 3.30 | 1.15 | 0.40 | 0.25   | 3.09 | 3.16  | 9.18   | 1.51  | 4.64 | 9.48  | 9.8  |
| 2012年7月 | 3.34 | 1.15 | 0.40 | 0.25   | 3.15 | 3.17  | 9.18   | 1.98  | 4.20 | 9.32  | 7.8  |
| 8月      | 3.19 | 1.15 | 0.40 | 0.25   | 3.15 | 3.16  | 9.18   | 1.52  | 3.91 | 9.06  | 9.3  |
| 9月      | 3.14 | 1.15 | 0.40 | 0.25   | 3.15 | 3.16  | 9.18   | 1.00  | 4.22 | 8.85  | 11.3 |
| 10月     | 2.94 | 1.15 | 0.40 | 0.25   | 3.04 | 3.16  | 9.18   | 0.68  | 3.80 | 8.72  | 7.9  |
| 11月     | 2.85 | 1.15 | 0.40 | 0.25   | 2.88 | 3.16  | 9.18   | 0.26  | 4.01 | 8.69  | 8.4  |
| 12月     | 2.88 | 1.15 | 0.40 | 0.25   | 2.88 | 3.16  | 9.18   | 0.20  | 4.58 | 8.79  | 7.5  |
| 2013年1月 | 2.86 | 1.15 | 0.39 | 0.25   | 2.88 | 3.16  | 9.18   | 0.08  | 4.20 | 8.81  | 7.0  |
| 2月      | 2.83 | 1.15 | 0.38 | 0.25   | 2.88 | 3.16  | 9.18   | 0.05  | 3.99 | 9.08  | 6.7  |
| 3月      | 2.81 | 1.15 | 0.38 | 0.25   | 2.87 | 3.16  | 9.18   | 0.05  | 4.00 | 9.63  | 6.1  |
| 4月      | 2.80 | 1.15 | 0.38 | 0.25   | 2.86 | 3.16  | 9.18   | 0.04  | 4.06 | 8.72  | 6.9  |
| 5月      | 2.72 | 1.15 | 0.38 | 0.25   | 2.83 | 3.17  | 9.18   | 0.19  | 4.11 | 8.40  | 5.0  |
| 6月      | 2.69 | 1.15 | 0.38 | 0.25   | 2.60 | 3.17  | 9.18   | 0.90  | 6.14 | 8.47  | 4.6  |
| 7月      | 2.68 | 1.15 | 0.38 | 0.25   | 2.60 | 3.16  | 9.18   | 0.67  | 5.42 | 9.14  | 6.1  |
| 8月      | 2.66 | 1.13 | 0.38 | 0.25   | 2.60 | 3.16  | 9.18   | 0.60  | 5.20 | 11.03 | 6.1  |
| 9月      | 2.66 | 1.00 | 0.38 | 0.25   | 2.60 | 3.16  | 9.18   | 0.87  | 5.38 | 10.87 | 5.5  |

13. 株価 (年末値、月末値)

|         | 韓国    | 台湾    | 香港     | シンガポール | タイ    | マレーシア | インドネシア | フィリピン | 中国    | インド    | ベトナム |
|---------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|------|
| 2011年   | 1,826 | 7,072 | 18,434 | 2,646  | 1,025 | 1,531 | 3,822  | 4,372 | 2,304 | 15,455 | 432  |
| 2012年   | 1,997 | 7,700 | 22,657 | 3,167  | 1,392 | 1,689 | 4,317  | 5,813 | 2,376 | 19,427 | 414  |
| 2012年7月 | 1,882 | 7,270 | 19,797 | 3,036  | 1,199 | 1,632 | 4,142  | 5,308 | 2,204 | 17,236 | 414  |
| 8月      | 1,905 | 7,397 | 19,483 | 3,025  | 1,227 | 1,646 | 4,060  | 5,196 | 2,144 | 17,430 | 396  |
| 9月      | 1,996 | 7,715 | 20,840 | 3,060  | 1,299 | 1,637 | 4,263  | 5,346 | 2,185 | 18,763 | 393  |
| 10月     | 1,912 | 7,166 | 21,642 | 3,038  | 1,299 | 1,673 | 4,350  | 5,425 | 2,166 | 18,505 | 388  |
| 11月     | 1,933 | 7,580 | 22,030 | 3,070  | 1,324 | 1,611 | 4,276  | 5,640 | 2,073 | 19,340 | 378  |
| 12月     | 1,997 | 7,700 | 22,657 | 3,167  | 1,392 | 1,689 | 4,317  | 5,813 | 2,376 | 19,427 | 414  |
| 2013年1月 | 1,962 | 7,850 | 23,730 | 3,283  | 1,474 | 1,628 | 4,454  | 6,243 | 2,497 | 19,895 | 480  |
| 2月      | 2,026 | 7,898 | 23,020 | 3,270  | 1,542 | 1,638 | 4,796  | 6,721 | 2,476 | 18,862 | 475  |
| 3月      | 2,005 | 7,919 | 22,300 | 3,308  | 1,561 | 1,672 | 4,941  | 6,847 | 2,341 | 18,836 | 491  |
| 4月      | 1,964 | 8,094 | 22,737 | 3,368  | 1,598 | 1,718 | 5,034  | 7,071 | 2,280 | 19,504 | 475  |
| 5月      | 2,001 | 8,255 | 22,392 | 3,311  | 1,562 | 1,769 | 5,069  | 7,022 | 2,408 | 19,760 | 518  |
| 6月      | 1,863 | 8,062 | 20,803 | 3,150  | 1,452 | 1,774 | 4,819  | 6,465 | 2,071 | 19,396 | 481  |
| 7月      | 1,914 | 8,108 | 21,884 | 3,222  | 1,423 | 1,773 | 4,610  | 6,639 | 2,087 | 19,346 | 492  |
| 8月      | 1,926 | 8,022 | 21,731 | 3,029  | 1,294 | 1,728 | 4,195  | 6,075 | 2,196 | 18,620 | 473  |
| 9月      | 1,997 | 8,174 | 22,860 | 3,168  | 1,383 | 1,769 | 4,316  | 6,192 | 2,276 | 19,380 | 493  |

(注) ベトナムは期中平均値。

資料出所一覧

| 国名     | 発行機関   | 資料名  | 備考                          |
|--------|--|--|-----------------------------|
| 韓国     | Bank of Korea  | Monthly Statistical Bulletin                               | 貸出金利：CD3カ月物                 |
|        | IMF  | IFS  | 株価：KOSPI指数                  |
| 台湾     | 行政院  | 台湾経済論衡   | 貸出金利：マネーマーケット90日物           |
|        | 台湾中央銀行   | 中華民国統計月報<br>金融統計月報   | 株価：加権指数                     |
| 香港     | 香港特別行政区政府統計処   | 香港統計月刊<br>香港対外貿易   | 貸出金利：銀行間3カ月物<br>株価：ハンセン指数   |
| シンガポール | Departments of Statistics<br>IMF                                     | Monthly Digest of Statistics<br>IFS                        | 貸出金利：銀行間3カ月物<br>株価：STI指数    |
| タイ     | Bank of Thailand<br>IMF<br>National Statistical Office               | Monthly Bulletin<br>IFS                                    | 貸出金利：銀行間3カ月物<br>株価：SET指数    |
| マレーシア  | Bank Negara Malaysia<br>IMF  | Monthly Statistical Bulletin<br>IFS                        | 貸出金利：銀行間3カ月物<br>株価：KLSSE指数  |
| インドネシア | Biro Pusat Statistik<br>Bank Indonesia<br>IMF<br>ISI Emerging Market | Indicatie Ekonomi<br>Laporan Mingguan<br>IFS<br>CEICデータベース | 貸出金利：SBI貸出90日物<br>株価：JSX指数  |
| フィリピン  | National Statistical Office<br>IMF                                   | 各種月次統計<br>IFS  | 貸出金利：財務省証券91日物<br>株価：PSE指数  |
| 中国     | 中国国家統計局<br>中華人民共和國海関総署   | 中国統計年鑑<br>中国海関統計   | 貸出金利：銀行間3カ月物<br>株価：上海A株指数   |
| インド    | Reserve Bank of India<br>CME   | RBI Bulletin<br>Monthly Review                             | 貸出金利：銀行間3カ月物<br>株価：Sensex指数 |
| ベトナム   | 統計総局<br>国家銀行<br>IMF<br>ISI Emerging Market                           | 各種月次統計<br>各種月次統計<br>IFS<br>CEICデータベース                      | 貸出金利：銀行間3カ月物<br>株価：VN指数     |